総合エネック株式会社が新電力の新しい供給形態「部分供給」サービスを開始・詳解ページをUPしました。

「部分供給」とは一般電力会社（東京電力等）と、新電力の複数契約を需要家が結ぶものを言います。

「全量供給」（今までの手法）では、負荷率※（25～30％未満でなければメリットが出せない）等の問題で新電力が供給できない企業の方が多かったのですが、この手法を使う事で負荷率で60％前後までの企業に新電力として割安料金を提供できます。今までお断わりしてしまう事の多かった、病院・工場・ホテル・大規模商業施設他、負荷率が高く断られた経験のある企業にとって朗報となります。

さらに、総合エネックでは、キュービクルの保守・点検費用まで削減するサービスを展開しています。
キュービクルとは、送電線より高圧受電する場合必ず必要となるもので、法律により月次・年次点検が義務付けられおり、これに係る費用もばかになりません。

この費用を、クラウド型デマンド監視装置「エネック”eye”（アイ）」を使う事により値下げできます。

また、「エネック”eye”（アイ）」を取り入れることで契約電力をも引き下げることが可能となり、総合的に大幅な電気料金の削減につながります。

最近は、どこの電力会社管轄内でも電気料金が上昇傾向にあり、各企業は電気料金の値上げに苦しんでいる事と思われます。今一度、様々な電気料金の削減方法を確認して下さい。

※負荷率とは、契約電力に対する消費電力量の割合を言います。
【負荷率 ＝ 契約電力(kW) ／ 年間総消費量(kWh) ／ 8760（年間総時間数）】
（同サイト内で簡易計算機も有り）

【お問合せ先】

運営会社　：総合エネック株式会社

ページURL　：http://www.enec.co.jp/

担当窓口　：部分供給事業部

Mailアドレス：info@enec.co.jp

電話番号　：028-688-8880

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com